

はばだけ！
JTサンダーズ広島

竹田 英司

合宿所近くの桜が散り始めた頃、4人の内定選手が晴れて入社式を迎えた。初任給で何を買うか聞いたところ、新井雄大選手は「服をたくさん」、坂下純也選手は「2人掛けのソファ」、西村信選手は「大好きな祖母に湯飲み」、平井海成選手は「ゲーム」とのこと。



スーツ姿が初々しい新入社員。左から平井、西村、新井、坂下の各選手

◎ 4人の内定選手 入社

いずれJTサンダーズ広島を背負って立つ、若き俊英たちの門出に幸あれ。

退院した井上航選手に、「日本中のファンが航の回復を願って神社にお参りしたり、千羽鶴を折りたりしている。その皆さまに動画で今の航の姿をお見せしよう」と説得すると、「嫌です。もうけがした人間のことなんか、ほっといてくださいよ!」と捨てぜりふを吐かれ、以来、食堂ですれ違ってもお互い無視していた。

それを見かねた関野吉陽トレーナーからリハビリを手伝うよう依頼され、「仕事なら仕方ないか」とと徐々に航選手に歩み寄った。いすに座った航選手が上げる二段トスを、ネット際に立ってスパイクするのが私の「仕事」だ。最初は2人とも無表情で淡々と進めていたが、「ちゃんとスパイクできるトスを上げろ!」「うるさいです。練習の邪魔」などと声を掛け合い、最後に私の弱々しいスパイクが決まると、お互い笑顔になった。

数日間の確執をわずか数分で流し去り、「やはりスポーツの力は偉大だ」と実感した次第。航選手は皆さまからの愛情を糧に、文字通り再び立ち上がるだろう。

(JT広島マネジャー)